

## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 株式会社トータル・メディカルサービス  
 コード番号 3163 URL <http://www.tms-inc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野 繁樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 小倉 賢一  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 大 福

TEL 092-941-4141

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,842	—	97	—	98	—	36	—
24年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 31百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	24.27	—
24年3月期第1四半期	—	—

(注) 平成24年3月期第3四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	8,169	—	2,088	—	25.6	—
24年3月期	8,156	—	2,130	—	26.1	—

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 2,088百万円 24年3月期 2,130百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,846	—	309	—	308	—	126	—	85.22
通期	12,034	44.8	730	27.2	726	25.7	323	7.0	217.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期第3四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、第2四半期(累計)の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期から減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	1,485,900 株	24年3月期	1,485,900 株
25年3月期1Q	294 株	24年3月期	294 株
25年3月期1Q	1,485,606 株	24年3月期1Q	1,485,606 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. 補足情報 .....	9
四半期損益計算書 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要や一部の企業では設備投資が増加傾向にあり、エコカー補助金等の政策効果などによる個人消費の持ち直しを背景に緩やかな回復基調にあったものの、欧州の債務問題や円高の長期化、消費税増税に向けた動きや電力供給制限などの懸念材料があり、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが主に属する調剤薬局・医薬品業界におきましては、平成24年4月に薬価の引下げ（平均6.0%）及び調剤報酬の引上げ（0.5%）が実施され、引き続き厳しい状況となっております。

こうした環境の中、当社グループは、調剤薬局事業ではレセプトコンピューターの新機種導入、メディカルサポート事業では医薬品卸及び給食に係る販売管理システムの入替えなどを順次実施することで、さらなる業務の効率化によるコスト削減を図り、収益性の向上に努めております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は2,842百万円、営業利益は97百万円、経常利益は98百万円、四半期純利益は36百万円となりました。

なお、前第3四半期連結会計期間から四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①調剤薬局事業

当第1四半期連結累計期間において新規開局はなかったものの、既存店舗の処方箋枚数が順調に増加したことから、売上高は1,707百万円となり、セグメント利益は206百万円となりました。

#### ②メディカルサポート事業

当第1四半期連結累計期間において病院との医薬品卸売契約及び給食業務受託契約を獲得したものの、管理体制の強化などにより経費が増加したことから、売上高は1,134百万円となり、セグメント損失は3百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は4,597百万円となり、前連結会計年度末残高4,588百万円に対し8百万円増加しました。これは主として、売掛金の回収などにより現金及び預金が94百万円増加した一方で、売掛金が92百万円減少したことによるものであります。

#### (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は3,572百万円となり、前連結会計年度末残高3,567百万円に対し4百万円増加しました。これは主として、本社ビルや調剤薬局の店舗建設に係る建設仮勘定など有形固定資産のその他が99百万円増加した一方で、のれんの償却によりのれんが66百万円減少したことによるものであります。

#### (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は3,645百万円となり、前連結会計年度末残高3,488百万円に対し157百万円増加しました。これは主として、薬価の引下げに備えて前連結会計年度末に実施した在庫圧縮の反動により医薬品の購入量が増加したため買掛金が115百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は2,435百万円となり、前連結会計年度末残高2,536百万円に対し101百万円減少しました。これは主として、返済により長期借入金が98百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は2,088百万円となり、前連結会計年度末残高2,130百万円に対し42百万円減少しました。これは主として、四半期純利益の計上額と配当金の支払額との差額により利益剰余金が38百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月14日に発表いたしました業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,134	2,229
売掛金	2,143	2,050
たな卸資産	164	192
その他	147	126
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	4,588	4,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	715	704
土地	998	998
その他(純額)	113	213
有形固定資産合計	1,827	1,915
無形固定資産		
のれん	1,019	953
その他	40	36
無形固定資産合計	1,060	989
投資その他の資産		
投資有価証券	123	116
投資不動産(純額)	277	273
その他	279	278
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	679	666
固定資産合計	3,567	3,572
資産合計	8,156	8,169

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,058	2,173
短期借入金	845	858
未払法人税等	205	93
賞与引当金	107	59
その他の引当金	7	3
その他	263	457
流動負債合計	3,488	3,645
固定負債		
長期借入金	2,339	2,240
退職給付引当金	91	91
役員退職慰労引当金	74	76
その他	30	27
固定負債合計	2,536	2,435
負債合計	6,025	6,081
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	281	281
資本剰余金	184	184
利益剰余金	1,653	1,615
自己株式	△0	△0
株主資本合計	2,119	2,081
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	6
その他の包括利益累計額合計	11	6
純資産合計	2,130	2,088
負債純資産合計	8,156	8,169

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	2,842
売上原価	2,508
売上総利益	333
販売費及び一般管理費	236
営業利益	97
営業外収益	
受取利息及び配当金	1
受取賃貸料	4
その他	2
営業外収益合計	8
営業外費用	
支払利息	4
投資不動産管理費用	2
その他	0
営業外費用合計	6
経常利益	98
特別利益	
固定資産売却益	1
満期保険返戻金	8
特別利益合計	9
特別損失	
投資有価証券評価損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純利益	108
法人税、住民税及び事業税	91
法人税等調整額	△19
法人税等合計	72
少数株主損益調整前四半期純利益	36
四半期純利益	36



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

		当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益		36
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		△4
その他の包括利益合計		△4
四半期包括利益		31
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		31

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	調剤薬局事業	メディカル サポート事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,707	1,134	2,842	—	2,842
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5	5	△5	—
計	1,707	1,139	2,847	△5	2,842
セグメント利益 又は損失(△)	206	△3	202	△105	97

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更によるセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

前第3四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、前第1四半期累計期間に係る四半期損益計算書を掲載しております。

## 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	1,701
売上原価	1,498
売上総利益	202
販売費及び一般管理費	134
営業利益	68
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	0
受取賃貸料	3
受取保険金	1
その他	0
営業外収益合計	6
営業外費用	
支払利息	1
投資不動産管理費用	2
その他	0
営業外費用合計	4
経常利益	71
特別利益	
固定資産売却益	5
特別利益合計	5
特別損失	
固定資産除売却損	0
投資有価証券売却損	0
特別損失合計	0
税引前四半期純利益	76
法人税、住民税及び事業税	57
法人税等調整額	△18
法人税等合計	39
四半期純利益	36